

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第352回

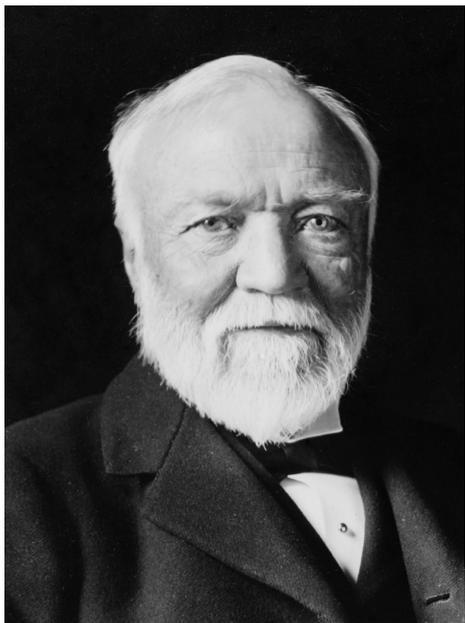
アンドリュー・カーネギー

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年4月10日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

There is little success
where there is little laughter.

笑い声のないところに成功はない。

アンドリュー・カーネギーは、スコットランド生まれのアメリカの実業家。立志伝中の人物であり、崩れ行く橋を見て着想を得てカーネギー鉄鋼会社を創業し、成功を収めて「鋼鉄王」または「鉄鋼王」と称された。事業で成功を収めた後、教育や文化の分野へ多くの寄付を行ったことから、慈善活動家としてよく知られている。

Column

改めて“成功”という言葉調べてみると『普通には困難な目的が成し遂げられること』とあります。世の中には様々な舞台で努力している人が大勢います。むしろ努力していない人などいないのではないのでしょうか。そう考えると、努力することは“普通”なのです。頑張っても困難なことをクリアするためには、普通以上の努力をするしかありません。そういう意味で、今回の言葉を見つけた時に“確かに笑えるほど前向きじゃなきゃ成功なんてありえない！”と肯定的に思う気持ちと、“普通以上の努力が大変すぎて笑う余裕があるかな…”と否定的に思う気持ちがありました。

私のこれまでの人生の中で唯一“成功した！”と思えることといえば、中学生時代から夢に見ていたプロアスリートになれたことです。確かに夢に向かっていく期間の中で、ワクワクと一緒に常につきまとう不安に何度も襲われました。夢を叶えたい気持ちが高まるほど不安は大きくなりました。そんな中でも前を向き、笑う瞬間があったのは、常に私を励まし、夢が叶った瞬間には私よりも喜んでくれた仲間や、切磋琢磨したライバルのおかげです。自力のみの努力は普通と呼ばれるレベルの範囲内でしょう。しかし、そこに仲間やライバルから受けて力になった分をプラスすることで普通を超えるのではないかと感じました。

たとえ叶わなかったとしても、自分の貴重な時間や労力を費やす価値があると思えるから夢と思えるのです。不安になっている暇などないのです。夢のために努力している時間も夢の中です。だから『夢中』なのです。夢中で頑張れば本当の仲間がついてきます。成功した瞬間のイメージをできる限りリアルにしていきましょう。仲間たちとともに喜び、その輪の中心にいる自分を想像しましょう。きっと笑顔になれるはず。自分を信じ、大いに期待し、仲間とともに笑いながら前を向いて目標達成に近づいていきましょう！